

※A課題は半切横が可能になりました。ご活用ください。

- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か横・角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。（作品の裏右下には鉛筆で氏名も忘れず記入）

〈B課題の部〉



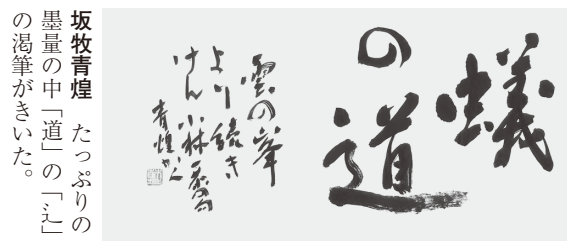
今井清翠 空気をはらませた空間処理が見事。



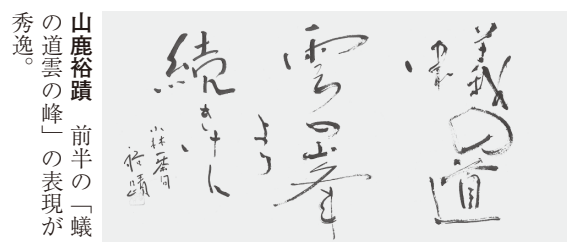
松本栖麗 手慣れた筆力を発揮して文字の表情を演出。



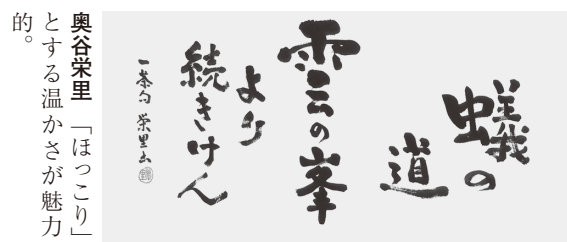
澤田桃翠 紙面の中で躍動する文字が作品にいのちを吹き込んだ。



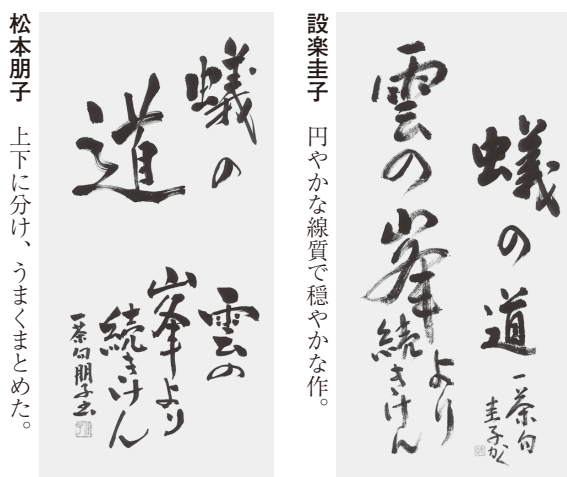
坂牧青煌 たつぷりの墨量の中「道」の「ミ」の渴筆がきいた。



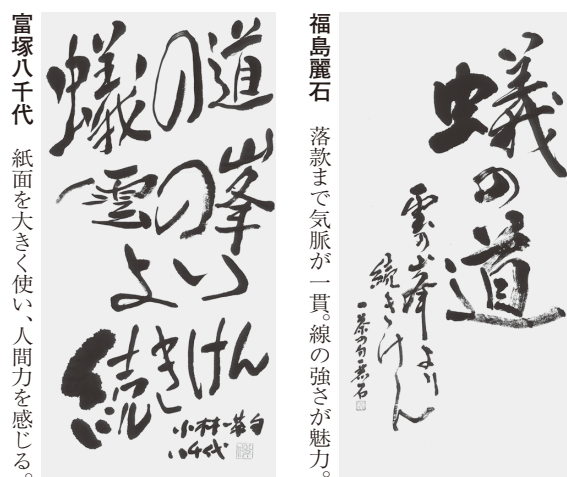
山鹿裕蹟 前半の「蟻の道雲の峰」の表現が秀逸。



奥谷栄里 「ほっこり」とする温かさが魅力的。

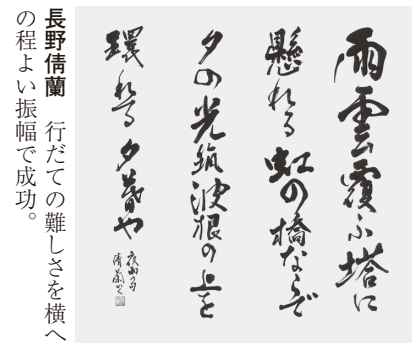


松本朋子 上下に分け、うまくまとめた。

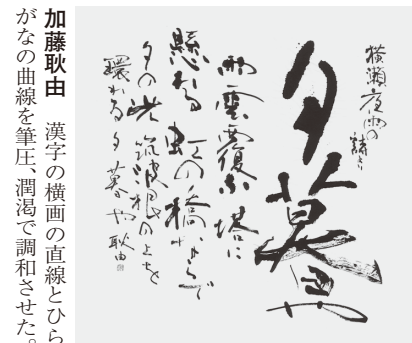


富塚八千代 紙面を大きく使い、人間力を感じる。

〈A課題の部〉



長野倩蘭 行だての難しさを横への程よい振幅で成功。



加藤歌由 漢字の横画の直線とひらがなの曲線を筆圧、潤渴で調和させた。

優秀作品

B 山も庭も動き入るや夏座敷

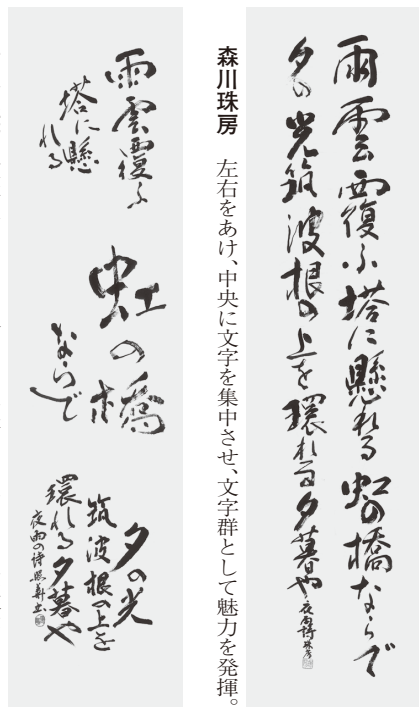
(松尾芭蕉 句)

A 夏はきぬ相模の海の南風に

(吉井勇 歌)

現代書部 次号課題

夕刻、四条烏丸でバスを待っていると、函谷鉾の二階離子が。まともな湿った空気に鉦はりズミカルな音を刻み、気持ちを高揚させてくれます。この号が皆様のお手元に届く頃は、たぶん「祇園祭」真只中。そして、水明展の作品も仕上げの頃を迎えておられるのでは。作品は「一枚一枚異なる作品をつくるつもりで」とは師匠の言葉。紙のサイズや筆を変えてみることも発見があります。枚数を重ねることだけに満足せず、是正と工夫の繰り返し。それでも最初に書いた作品が良かったりするものです。費やした時間と練習は次の作品づくりにつながると信じて、今日も書いています。

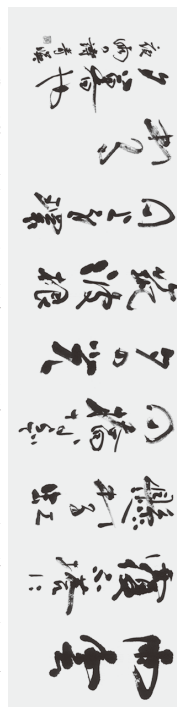


森川珠房

左右をあけ、中央に文字を集中させ、文字群として魅力を発揮。

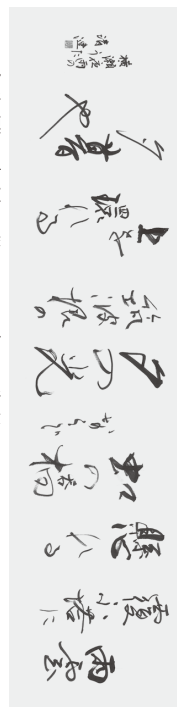
寺尾照華

文字群を三つに分け、主張を明確にした意欲作。



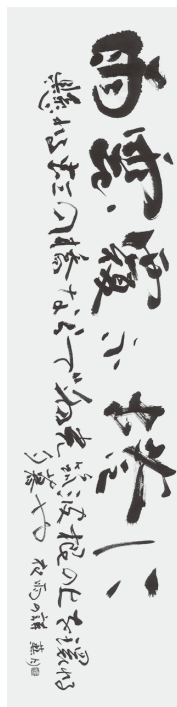
西嶋青暎

大字に比べ多字数は弱く見えがちな中、横への振幅で実力を発揮。



岡村清漣

静謐な美しさを狙った秀作。



熊谷燕月

紙面の白黒のコントラストが楽しい。